

## 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月19日

計画の名称	安全・安心な通学空間をつくるみちづくり（防災・安全）											
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）											
交付対象	新居浜市											
計画の目標	安全で安心な通学空間をつくるみちづくりを実施するため、通学路安全プログラムに基づく点検において対策必要箇所としてあげられた危険箇所の対策を実施するとともに、危険な通学路を短期間に計画的に整備することにより、地域住民と児童・生徒の安全性と利便性の向上を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,597	A	1,597	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0%

番号	定量的指標の定義及び算定式 定量的指標の定義及び算定式	計画の成果目標（定量的指標）		定量的指標の現況値及び目標値	
		当初現況値	中間目標値	最終目標値	
		(H29当初)		(R3末)	
1	通学路緊急合同点検において対策必要箇所としてあげられた箇所を解消することで、児童・生徒にとって安全で安心な通学空間を確保する 通学路緊急合同点検において、対策必要箇所（道路管理者対策分）としてあげられた箇所の整備率 対策が完了した箇所 / 対策必要箇所の総箇所数 × 100	21%	%	100%	
2	バイパス整備・現道拡幅により、歩道整備を行い歩車分離を図り、通学路における児童・生徒の安全性を確保する 対策必要箇所（道路管理者対策分）における歩道整備率 整備済延長（m） / 計画整備延長（m） × 100	0%	%	100%	

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

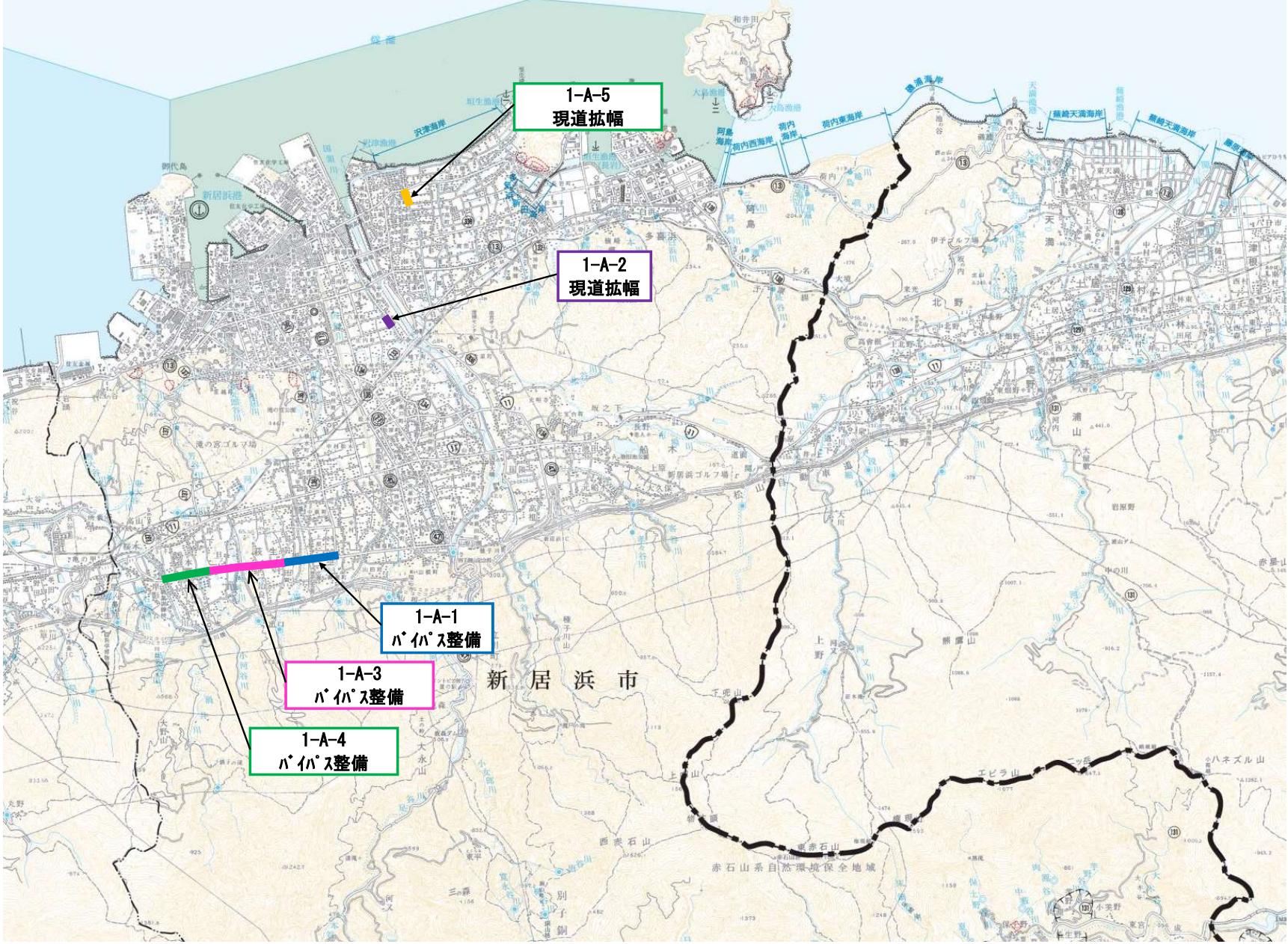
A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											H29	H30	H31	R02	R03		
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	新居浜市	直接	新居浜市	S街路	改築	(都)上部東西線外1線	バイパス L=0.9km	新居浜市						209		-
		H28:社会資本整備総合交付金																	
	A01-002	道路	一般	新居浜市	直接	新居浜市	市町村道	改築	平形外山線	現道拡幅 L=0.1km	新居浜市						148		-
	A01-003	街路	一般	新居浜市	直接	新居浜市	S街路	改築	(都)上部東西線	バイパス L=1.2km	新居浜市						577		-
	A01-004	道路	一般	新居浜市	直接	新居浜市	市町村道	改築	上部東西線(地方道)	バイパス L=0.8km	新居浜市						413		-
	A01-005	道路	一般	新居浜市	直接	新居浜市	市町村道	改築	松の木東雲線	現道拡幅 L=0.4km	新居浜市						250		-
													小計					1,597	
													合計					1,597	

## 事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
新居浜市において評価を実施	令和7年9月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「(都)上部東西線外1線 L=0.9km」は、通学路緊急合同点検による対策必要個所24か所のうちの1か所であったが、その一部が平成30年度に完成し、歩道整備による歩車分離を図り、通学路における児童・生徒の安全を確保できた。</li> <li>「平形外山線 L=0.1km」は、通学路緊急合同点検による対策必要個所24か所のうちの1か所であったが、令和2年度に完成し、歩道整備による歩車分離を図り、通学路における児童・生徒の安全を確保できた。</li> <li>「(都)上部東西線 L=1.2km」「上部東西線(地方道) L=0.8km」「松の木東雲線 L=0.4km」については、歩道を整備するための測量設計業務、用地測量業務、用地買収等を進め、歩道整備等の事業推進を図った。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
<p>平成28年度通学路緊急合同点検における対策必要個所24か所のうち未完了となった3か所については、バイパス整備・現道拡幅となり用地買収協議等が難航し時間を要しているため、令和4年度からの新計画にて継続することで、安全・安心な通学空間をつくるみちづくりを行って参ります。</p> <p>また、新計画においてバイパス整備や現道拡幅を行うことで、歩道整備を行い、通学路における児童・生徒の安全性を確保するよう努めて参ります。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	( 対策が完了した個所 / 通学路緊急合同点検においてあげられた対策必要個所の総個所数 ) × 100		対策必要個所のうち未完了の 3 か所については、バイパス整備・現道拡幅であるため用地買収協議等が難航し時間を要したため
	最終目標値 100%		
2	( 歩道の整備済延長 / 歩道の整備計画延長 ) × 100		歩道の整備計画延長3.4kmのうち未完了の延長2.4kmについては、歩道を整備するために必要な用地買収協議等が難航し時間を要したため
	最終目標値 100%		

(参考図面)

計画の名称	安全・安心な通学空間をつくるみちづくり（防災・安全）		
計画の期間	平成29年度～令和3年度（5年間）	交付対象	新居浜市
			
1-A-1 バイパス整備	1-A-2 現道拡幅	1-A-3 バイパス整備	1-A-4 バイパス整備
1-A-5 現道拡幅			